

# 工期短縮：工程管理スキル習得講座

現場運営に際して、工期を短縮する意義は大きい。発注者は、早くその建設物を使用し、利益を享受できる。近隣住民は、工事に伴う騒音や振動などの被害を受ける期間が短くなる。施工する建設会社は、社員や作業員の拘束期間が短くなる。まさに工期短縮は、工事成功の要だ。(以下省略)

と書かれた『今すぐできる建設業の工期短縮』を目に留めたのがきっかけで本講座を開講することになりました。少人数の寺子屋的学習環境ならではの特徴を活かし、『245 ページにわたる一冊の本の完全な読みきり』を縦糸に『講師との対話・演習』を横糸に『受講者の経験・情報』を織り交ぜながら相互研鑽します。継続教育の一環として積極的な受講をお待ちしております。

【日 時】 平成30年10月12日(金)～10月13日(土)

各日 9:00～12:00(昼食1時間) 13:00～17:30(軽食45分間)

18:15～20:45 <講習10時間> 計20時間 CPDS 20ユニット

【会場】 (有)えん総合研究所 少人数研修所「考究舎」大阪府高槻市真上町3-7-35

【定員】 5名 (定員になり次第締め切らせて頂きます。申し込み者1名でも実施)

【受講料】 1回2日間 一人 39,000円(書籍含む)。

【使用テキスト】 書籍：「今すぐできる建設業の工期短縮」(降旗 達生著 日経BP社発行 弊社主催セミナーテキストとして使用許諾済み)、及び参考資料の配付。

【主催者・問い合わせ】 有限会社 えん総合研究所 大阪府高槻市真上町3丁目7番35号

TEL&FAX 072-682-8961 (担当：長谷) メール [in@en2.jp](mailto:in@en2.jp) HP <http://www.en2.jp>



1 日 目	2 日 目
9:00～12:00<昼食1時間>13:00～17:30 <軽食45分間>18:15～20:45	9:00～12:00<昼食1時間>13:00～17:30 <軽食45分間>18:15～20:45
はじめに 1. 工期短縮6つのメリット 2. 工期を短縮する工程管理手法 ◆引き渡し日をゴールにPDCAサイクルを回す ◆工程管理5つのポイント 3. 工程管理のポイント。。。。①旗を立てよ ◆バーチャート式工程表とネットワーク工程表 ◆ネットワーク工程表の基礎知識、◇作成手順 <昼食1時間> ◆工期短縮5つの手法、◇工期と原価の関係 ◆事例で学ぶ、◇標準歩掛かり一覧 4. 工程管理のポイント。。。。②行き方を変えよ ◆VE手法、◇工程のリスクアセスメント ◆現場改善ツール、◇オズボーンのチェックリスト ◆IT化の推進、◇サイクル工程表 <軽食45分間> 5. 工程管理のポイント。。。。③ムダを省け ◆人的要因 ◇機械的要因 ◆方法要因、 ◇材料要因	*昨日の振り返り 6. 工程管理のポイント。。。④マイルストーンで改善せよ ◆中間チェック、◇工程が遅れる理由とは ◆進捗率・何日、◇月間・週間管理方法 ◆日報管理方法、◇進捗確認方法、◇余裕工程 <昼食1時間> 7. 工程管理のポイント。。。。⑤来た道を振り返れ ◆実績工程表の作成、◇実績をまとめる ◆歩掛かりのまとめ方、◇工程管理で工事成績を上げる 8. 一流技術者の時間管理術 ～業務時間を短縮するための時間管理術のポイント～ <軽食45分間> 9. 効率的に仕事をする人の習慣 ～技術者が身につけるべき習慣化のポイント～ 10. 「もうだめだ」を克服した勇者たち ～難工事に直面、技術者がいかに困難を克服したか～ 11. まとめ ・全体の振り返り

## 【担当講師及びプロフィール紹介】

長谷 利男：建設経営コンサルタント（有限会社 えん総合研究所 代表取締役）

“えん”を社名に、“人・モノ・仕組・顧客づくり”に関する、総合コンサルティング、人材育成を展開。建設企業の経営戦略の策定、ISO9001&14001 のマネジメントシステム構築指導、新分野進出調査・策定、人材育成（経営幹部、管理職、現場主任、新入社員、目標管理等）等で活躍中。『建設業原価管理運用マニュアル』共著：日本コンサルタントグループ発行。

国土交通省・建設業経営戦略アドバイザー（平成20年度～30年度）、ISO9001QMS 審査員補、宅地建物取引士、全能連認定マスターマネジメントコンサルタント CMC、R S T（職長等教育講師養成講座）及び安全衛生責任者教育講師養成講座課程修了、土木学会員、日本建築学会員。高槻商工会議所、大阪商工会議所会員、日本 VE 協会員。

## 【お申込方法及び代行申請】

申込書をご記入、FAX またはメール（申込書ファイル添付）でお申し込み下さい。折り返し「受付済み」並びに受講料振込先をメールにて連絡します。先着順に受付し定員を超える場合、今後の開催予定他で連絡いたします。又弊社では CPDS 受講実施機関として講座修了後受講者に代わって学習履歴申請（2 営業日以内に登録）しております。該当者は JCM（社団法人 全国土木施工管理技士会連合会）発行の「CPDS 技術者証」（カード）をご持参下さい。

FAX 072-682-8961

## 【受講申込書】 H -----

講座名	工期短縮：工程管理スキル習得講座		開催日	平成30年 10月12日（金）～10月13日（土）		
会社名		所在地	〒			
申込責任者	氏名		E-mail			
	役職		TEL	FAX		
氏 <sup>リ</sup> ガ <sup>ナ</sup> 名・年齢			才			才
氏 <sup>リ</sup> ガ <sup>ナ</sup> 名・年齢			才			才

通 信

【個人情報保護】 弊社では経営コンサルティング業務、社員教育、新商品・サービスに関する情報をお知らせする目的で個人情報を保有しております。頂いた個人情報はセミナー受講券の発送などに利用いたします。又今後前述の目的にも利用いたします。

### <ご 案 内>

- \* ご案内の講座の他に「現場代理人研修」「安全管理」「現場施工プロジェクトマネジメント」「新技術・新工法・新資機材等ご当地におけるセミナー企画・開催、社員教育等を御請けいたします。
- \* セミナー受講、社員教育に厚生労働省のキャリア形成促進助成金の活用が可能ですので、相談ください。ご要望、問い合わせ等通信欄にご記入の上FAX下さい。